

EVENING PREMIUM

塩爺お気に入り入り 足裏皇帝マッサージ

老いは足から来る一といわれるがこちらには無縁のようだ。財務大臣など、さまざまな要職を歴任し、2年前に議員を引退してからは東洋大学総長として辣腕をふるう「塩爺」こと塩川正二郎さん(83)。元気の素のひとつが、最近通うようになった中国足裏マッサージだという。いったいどんな効果が期待できるのか。



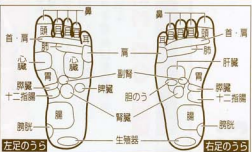
「毎日、通いたいよ」

■イタ気持ちいい
塩川さんを手で直撃して、揉み地を聞いた。

「やめて」
時はちょっと痛い
後がスツとして

「同じ山形県米沢市の小野川温泉で開業しており、今年1月東京にも進出した。塩川さんは友人の紹介で、米沢の店を訪れ、足を運ぶようになった。」

これが足裏反射区。臓子の悪い箇所を自分で強めに刺激してみよう



足裏の刺激を治療に取り入れている東京女子医科大学附属青山泉医療研究所クリニクの班健夫医師は、こう語る。
「足裏の反射区と呼ばれるツボを刺激する」
「医学的にも効果アリ」
「全身や手のツボを刺激する」
「西洋医学的には6割程度の確率で良い効果が得られるといわれています。足ツボ治療は中国特有のものでもなく、米国でも約10年前から足と全身の対応関係がみつかり、1980年代から

ら治療して利用され始めました」
「全身や手のツボを刺激するより、足だけの方が効果あり」というデータもあります。ツボが良き分なら、自分で

「中国内陸部には、遠来の客に対し薬湯で足(脚)を洗ってその疲れた脚を解く洗脚の儀式があるんです。その最高のもてなしが足ツボ療法で取り入れられ、今日本で伝えられてきました」
基本的なツボの刺激法は「足指を指をたたいた第2関節で揉みほく通常の中国種々の漢方に入った薬湯に足を浸すこと」。

「温泉の足湯は暖かく、ぬるぬるとした気分がマッサージを受けたのと同じ効果が体感できる」(中澤氏)という。その地土名店、皇帝マッサージと呼ばれるきたといる。東部の店では、オープン初日

83歳 元気のツボ



漢方の薬湯で、ていねいに洗ってくれる

■早朝から日課
塩川さんは、健康の源として、「とん足」にこだわっている。良サッサン(他)も、天気の良い日は早朝40分、3500歩から5000歩の散歩をするという。

「掃除機をかけるんだから、1番目のお客さんがリサ・ステックマイヤさんでした(中澤氏)といふうちに、近隣の有名なOL的な女性客に人気で、リバーターが増えているようだ。」

おなじみの優快な笑いも出て

■新井寛